

要 望 書

令和 3 年 10 月

全 国 景 観 会 議

令和 3 年 10 月

様

全国景観会議会長

和歌山県県土整備部長 安部 勝也

送電用の鉄塔における景観への配慮及び無電柱化の推進に係る協力依頼

全国景観会議は、都市や地域の景観形成に関する施策の研究、知識の普及、啓発等を通じて、魅力あるまちづくりの推進に寄与することを目的に、1988 年（昭和 63 年）6 月に設立されました。

現在、38 都府県が加入し、景観形成に関する調査研究等を行っているほか、毎年、景観形成に関する諸施策の創設、拡充を国に要望しているところです。

つきましては、貴職におかれましても、本依頼の趣旨に御理解を賜り、良好な景観形成において、特に以下の事項について特段の御配慮をいただきますようお願いいたします。

- (1) 送電用の鉄塔の設置に当たっては、周辺景観への影響を最小限とするよう、以下について御検討願います。
 - ① 鉄塔の設置位置は、山際線を保護するなど、景観に配慮した位置に設置すること。
 - ② 鉄塔等の送電設備の色彩は、周辺環境に融和した色彩の採用すること（航空法上、昼間障害標識（赤白の交互塗装）を設置しなければならない場合は、中光度白色航空障害灯の設置などの代替措置等）。
- (2) 「無電柱化の推進に関する法律」及び「無電柱化推進計画」による無電柱化の推進に当たり、以下について御検討願います。
 - ① 景観形成上重要な地域における細街路等に対応した地上機器や工法等の技術開発を行うこと。
 - ② 関係事業者間の連携に協力すること。
 - ③ 無電柱化工事に携わる事業者の施工体制を確保すること。